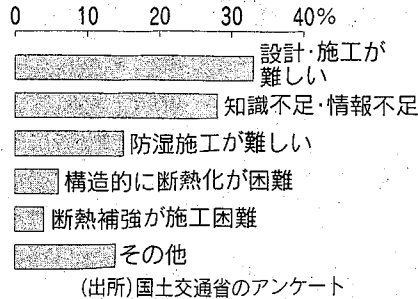


# ゼロエネ住宅 普及先導

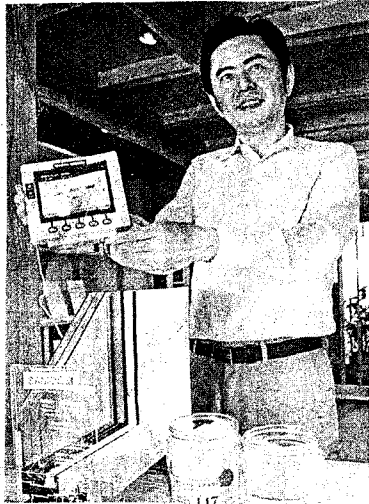
地方の中小住宅会社がエネルギー消費量が実質ゼロのゼロエネルギー住宅（ZEH、ゼッチ）市場の形成に挑戦している。2020年に新築の過半数をZEHにする政府の政策も追い風だ。普及を先導するのがスーパーエネ店といわれる地域の有力工務店。人材確保や技術の壁を乗り越えて「小が大を制する」市場攻略のヒントをスーパーエネ店に探る。

## 中小工務店

中小工務店が省エネ基準に適合した住宅を供給できなかった技術的理由



高断熱サッシや断熱材について展示場で説明するエコワークスの小山社長（福岡市）



## エコワークス 構造工夫で2割安く

### 棟 晶 断熱高め北海道でも

「九州産材でぬくもりがあるうえ、省エネ性能も高くていいですね」。福岡市の住宅展示場。同市の住宅会社エコワークスの木造展示場がにぎわう。今年1月からゼロエネ住宅を標準商品として提案し、今年度の供給戸数の8割がゼロエネ仕様となる見込みだ。

空調の使用を抑えるため高性能断熱材や高断熱サッシで断熱性能を最新の省エネ基準より4割ほど高めた。構造を工夫して寒い冬は日差しを入れ、夏は遮るよう窓を配置した。給湯器も省エネ性能の高い機器を使い、太陽光で発電する。原則有資格者しか採用せず、社員51人中、過半数の27人が建築士という

技術者集団にした。13年から新築戸建て全棟でエネルギー消費量を自主的に計算し顧客に説明してきた。小山貴史社長は「全棟でエネルギー計算をして説明までするのは住宅業界でまだ珍しい」と話す。

国の省エネ住宅向け補助事業にも3回連続の不採択にめぐり挑戦し、選ばれたことも知識の蓄積と自信につながった。「勉強を重ねたことで価格や手間を抑えながら性能を最大限高める設備・仕様の組み合わせ方が分かってきた」と小山社長。大手住宅会社のゼロエネ住宅に比べると、平均1割2割は安くできるという。

ゼロエネ化が難しい北海道で奮闘するのが棟晶（札幌市）だ。日照が少なく、大容量の太陽光発電設備の設置は難しい。早坂晶秀社長は「断熱性能を高め暖房使用を抑えている」と強調する。

厳しい欧州の省エネ基準を参考に設計する。シミュレーションソフトの使い方を講習会で学び、日射や風の流れ、窓の断熱性から年間の空調エネルギー消費量を1棟ずつ細かく試算。費用を抑えながら電気を有効利用できるように電気自動車（EV）を蓄電池として活用することも提案する。多くの日差しを取り入れるよう家の向きまで微調整する。「戸数が少ないからこそきめ細かく対応できる」（早坂社長）

戸建て市場は積水ハウスのように上位10社でもシェアが約3割で残りは中小の工務店・住宅会社だ。ゼロエネ住宅（ZEH）普及の力には中小が握っている。国は補助金対象を今年度から登録制と

厳しい欧州の省エネ基準を参考に設計する。シミュレーションソフトの使い方を講習会で学び、日射や風の流れ、窓の断熱性から年間の空調エネルギー消費量を1棟ずつ細かく試算。費用を抑えながら電気を有効利用できるように電気自動車（EV）を蓄電池として活用することも提案する。多くの日差しを取り入れるよう家の向きまで微調整する。「戸数が少ないからこそきめ細かく対応できる」（早坂社長）

新築の実証棟と改修した中古住宅にOMソーラーの集熱パネルや太陽熱を用いる暖房・給湯システム、太陽光発電設備などを設置。窓内側に断熱材入り引き戸、床の裏には蓄熱材を取り付ける。OMソーラーは気候に

応じた実験結果を反映した新システムを工務店に供給する方針。村田昌樹

## 基準義務化に対応急務

し、2020年度までに受注の50%以上をゼロエネ住宅とする目標の企業を「ZEHビルダー」と認定する。20年には新省エネ基準も義務化され対応が急務だ。

JBN（全国工務店協

ただ「消費者の関心事は意匠や間取り、価格で、

省エネへの関心度はまだ低い」（エコワークスの小山社長）。ゼロエネ住宅は導入費こそ割高だが、中長期では安い。部屋ごとの温度差が少なく健康にもいい。建物の省エネ性能を星印で示す制度「BELS（ベルス）」住宅版も関心を高めるのに生かせそうだ。